

「独行」住宅金融支援機構がフラット35住宅仕様実態調査報告を発表（お知らせ）

～片流れ屋根、樹脂サッシなど増加～

（独行）住宅金融支援機構が2018年6月に「平成29年度（フラット35）住宅仕様実態調査」の結果を公表しました。

調査結果によると、構造については「木造（耐久性あり）」が70%で最も多い一方で、「準耐火（省令準耐火）」の割合が増加する傾向にあり、平成24年度の前回調査時の18%から27.3%にまで増えている。これは火災保険と地震保険が軽減されることが認知されてきたためと考えられる。

屋根形状については、「切妻」が前回調査時の48%から40.7%に減少する一方で、太陽光発電を設置しやすい「片流れ」が19.2%から30.5%に増加している。

また、窓サッシではアルミ製が前回調査時の73.0%から38.3%に大きく減少し、プラスチック製や複合材料製が増えており、高断熱化の流れのなかで、「脱アルミ」が進んでいる。

こうした木造住宅の仕様の変化を捉えながら、現在の標準的な住宅の性能などに対応させるためのリフォーム提案が求められそうだ。

当センターの事前審査の活用を（ご案内）

事前審査とは

確認申請を円滑に進めるために、事前相談の一環として行うもので、審査対象である確認申請書及び添付図書等の整合性及び必要図面等の明示すべき事項が漏れなく記載されているかどうか、計画の法適合性に係る解釈等を中心に相談やチェックを行います。

・事前相談は電話やFAX、メール、面談で行っていますのでお気軽にご利用下さい。

・事前審査は、持参のほか、郵送、メールを利用できます。まずは、ご連絡下さい、事前審査の終了後、改めて確認申請をしていただきますが、確認申請後の審査時間の短縮が図れます。ご利用をご検討下さい。

なるほど家づくり（21）＝炊事の動き考え物配置＝

料理の要であるキッチン。その設備を決めて行くのも楽しみですが、流し台などは扉、設備の仕様などで金額が大きく変わることを理解したうえで、食器棚、食料保管棚は工事費で造るか、家具を使うかを考えておきましょう。

キッチンはそのほかに、冷蔵庫やレンジ、炊飯器などがあり、それらにはガスや電気設備が必要になります。炊事の動きを考えて、機器をレイアウトして部屋の広さを検討したり、キッチンとダイニングやリビングとのつながりなど、暮らしに合った部屋の配置を考えるのも大切です。

最近は、キッチンに家事コーナーを設け洗濯機、テレビ、パソコンを置いているのを見かけます。何となくそこに置くのではなく物の流れ、人の動きや目的を把握し計画を立て、使う人にとって快適なキッチンを造り上げて下さい。

また、ゴミの分別、ゴミ置き場、生ゴミ処理器などを考えておくことも必要です。

友の会会員からのお知らせ

宮交ポタニックガーデン青島「植物園ライトアップ2018」

・・・気温が下がり、友暮れ時のすごしやすくなる時間帯・・・夜にしか見られない植物たちの様子、青島のすばらしいロケーションの中で、屋間とは一味違った、幻想的な植物園をお楽しみください。

- ・日 時 : 平成30年7月21日（日）～10月4日（水）
- ・主 催 : 宮崎県
- ・問合わせ : 宮交ポタニックガーデン青島（県立青島亜熱帯植物園）TEL 0985-65-1042
- ・協 力 : 宮崎を「ひかり」で変える委員会